

新規就農者を応援！そして農業体験 新規就農者の畑で農業お手伝いツアー 参加者募集！（にんじん間引&草取り&畑でランチ）



さちこさん。2009年から茨城県八郷町で新規就農中。

「自分の食べものを自分で作ることが当たり前だと思っていた」というさちこさん。2009年春、「農ある暮らし」を始めました。何が起るかわからない農業の話聞きながら「農」のお手伝いをしませんか。

9月25日（土）

10：00～16：00頃まで

※現地集合・現地解散

場所・茨城県八郷町 新規就農者の畑

参加費・1,500円

■スケジュール

9：30 石岡駅集合 着替えて畑へ

10：00 畑にて援農体験

12：30 畑で昼食 新規就農のお話・なぜこの土地を選んだのか等色々な話を聞きます

14：00 畑で援農

16：00頃 解散

■募集要項

【集合場所】 常磐線石岡駅

- ・電車をご利用の方→新宿上野発8：30、石岡着9：28の特急フレッシュひたち9号が早くて便利です。駅までお迎えに上がります。
- ・自家用車の方→集合場所は後日お知らせいたします。

【参加費】 1,500円※現地集合現地解散

※昼食はおにぎりなどの軽食と飲み物をお持ちください。枝豆・ふかしいもなどを準備する予定です。

【体験内容】

新規就農者・さちこさんの畑で草取り・にんじんの間引きなどのお手伝いをいたします。
※作業内容は当日変更になる可能性あり。

【お申込みは】以下のWEBサイトのお問い合わせフォームからお申込みください。

<http://www.hontabe.com>

その際以下の項目についてお知らせください。

- ・参加者数
- ・参加者名及び年齢
- ・交通（電車・自家用車）

追って詳細な資料他のご連絡をいたします。

【申込締切】9月20日（火）

【最少催行人数】5名

お問い合わせは

ほんものの食べものくらぶ 手島

teshima@hontabe.com

ほんものの食べものくらぶ体験ツアーとは…？
農家のフィールドである畑。そこに出かけて様々な体験をすることにより、「農」を身近に感じていただく体験ツアーです。

受け入れ農家はすべて低農薬栽培に取り組む若い人たち。農業にかける思いも伝えます。



さちこさんプロフィール

新規就農について思うこと

わたしが自分の夢をかなえる場所としてここ八郷を選んだのには複数の理由があり、必ずしも他の新規就農希望者の必要とする条件ではないかも知れません。

たとえば、現地に知っている人がいること。

4年間の産地担当を通して顔見知りの農家と農協職員に知り合いができていました。そして、実家に近いこと。高速道路を使わなくても、国道を1本ひた走るだけで90分あれば実家に帰ることができます。などなど。

わたしは、新規就農とは必ずしもそれまでの生活をかなぐり捨てることではないと思っています（あえて捨てたい人は別ですが…）。タダでさえ、収入が保証されない慣れない仕事を知らない土地ではじめるのですから、頼れる人が一人でも多く近くにいることは精神的にも想像以上に心強いものです。

八郷農協は独自の新規就農者支援策を持っています。しかし、それは農業技術支援に限られたメニューですし、応募にはいくつかの制約もあります。住むところや畑は自分で探さなければなりませんし、出荷先も農協へという縛りもあるようです。そういう意味では、全国を見渡せばもっと至れり尽くせりで入植者を募っている自治体や農業法人はたくさんあるので、必ずしも条件が最高の方ではないと思います。

それでも、農協の支援制度を使わずに当地に就農してきた人たちは、使った人たちのすでに2倍以上います。それだけ魅力のある土地なのでしょう。実際ここで農業をしていると、とても懐の深さを感じます。有機に理解のある農協と土地の人たちに支えられ、右も左もわからずにやってきたよそ者たちでもがんばれていると思います。

○栽培について

最大方針：1年中おいしいこと

「家庭菜園ではないのだから」といつも自分に言い聞かせています。栽培が難しい野菜を作ったり、大量に作ることも、むしろ、誰でも作れるような野菜で「さすがだね」と言われる味を出すことが目標。そして、1年中切らさずに野菜を作り続ける工夫をしています。



昭和53年8月29日東京生まれ。

○小・中・高を近さ最優先の公立学校で穏やかに過ごすか、北の大地への憧れが転じて北海道の国立大学へ進学。

○動物と堆肥にまみれる夢のような学生生活を謳歌し、ハンカチよりもマイ長靴を持ち歩くことがエチケットだった花の女子大生時代。農学の学位と搾乳および毛刈りの技術を身につけて卒業。

○卒業後は農業国の実情を自分の目で見てみたいという思いで、周囲の就職をよそ目にひとりワーホリでオーストラリアへ渡る。NSWとVICの果樹園やひつじ農家で滞在を経験し、1年後、わずかばかりのOZイングリッシュと腰痛を抱えて帰国。

○通院しながらも就職を探す日々。自分の中で最低条件であった「農業関係」というキーワードに大地を守る会（当時株大地）がヒットし、ほとんどだめもとで応募するも、運良く採用される。

○4年間、畜産物の仕入れを行う「産地担当」を経験。その後の部署異動を機に、かねてからの自らの手で食べるものを作り出す仕事への夢が首をもたげ、1年後、当地への就農を目指して退職。

現在、3箇所に計5反の畑を借りて無農薬・無化学肥料の野菜作りの修行中。将来、野菜作りが一通りできるようになったら、動物を飼いたいと言うのが、目下の夢。